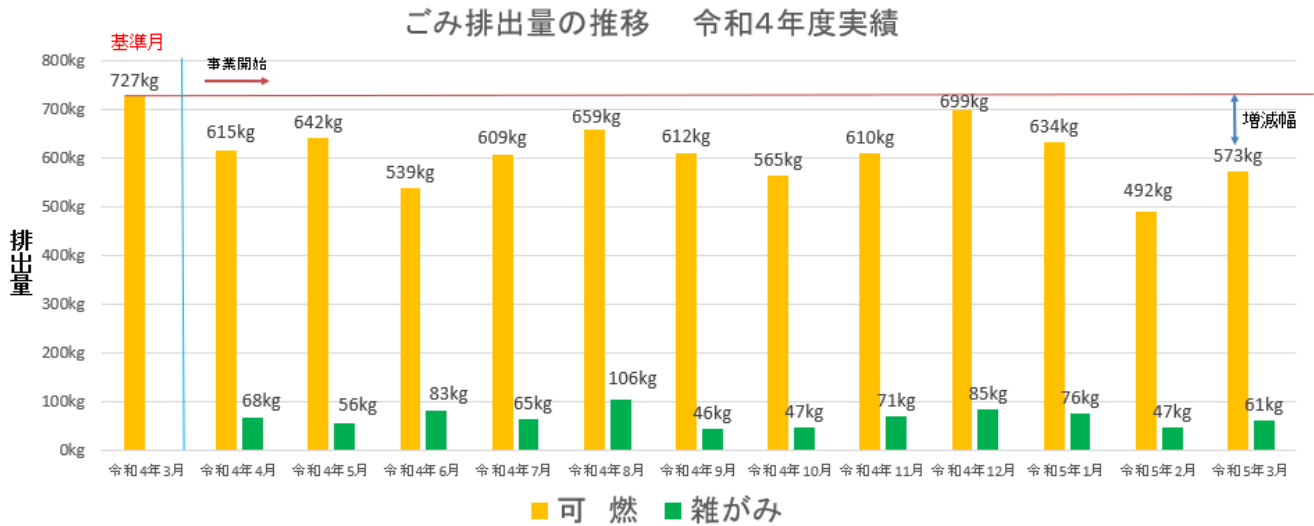


◀ 令和4年度 ごみ減量化モデル事業実績報告 ▶

- ① 事業期間：令和4年3月1日～令和5年3月31日（令和4年3月は基準月）
- ② 参加世帯：30世帯（田黒地区15世帯 関堀地区15世帯）
- ③ 事業内容：可燃ごみと資源物（雑がみ）の分別。水切りの徹底。
コンポスト容器等の活用による生ごみの減量。
剪定枝や刈草の自家処理又は堆肥化。
可燃ごみ（週2回）及び雑がみ（毎週水曜日）の重量測定。



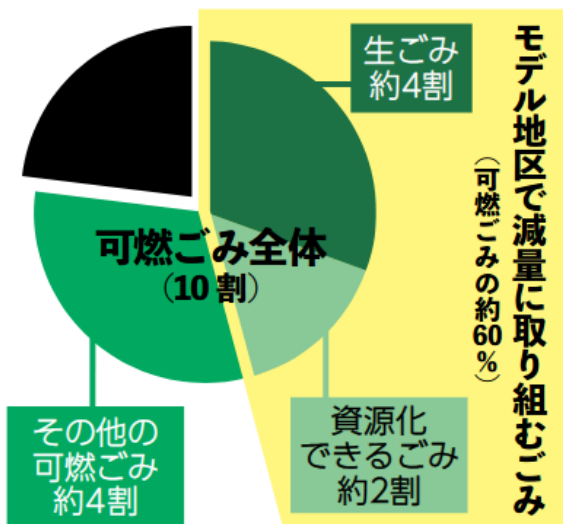
※3月は基準月とするために従来通りの出し方をお願いしています。

※3月を基準に増加数を見ることから「雑がみ」の数値が3月は「0」になっています。

◀ 経費の削減効果 ▶

- 可燃ごみの削減量 **1.477 t** $1.477 \text{ t} \times 44,000 \text{ 円/t} = 64,688 \text{ 円}$ の費用削減
- 雑がみ回収量 **0.811 t** $0.811 \text{ t} \times 4,300 \text{ 円/t} = 3,487 \text{ 円}$ の売却収入

◀ モデル地区で減量に取り組むごみ ▶



町から令和4年度に家庭から排出された可燃ごみの量は約 **1,480 t**。
町が令和4年度に小川地区衛生組合にごみ処理のために支払った負担金は
約 1 億 6,300 万円。
この金額はごみの重量で決まります。